



2019年5月23日

フェアトレード普及活動における表彰制度のご案内

特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン（東京都中央区：理事長 堀木 一男）は、Fairtrade International（国際フェアトレードラベル機構）の構成メンバーとして、日本国内において活動を開始以来、今年度26年目を迎えました。

欧米との比較では、社会的認知が不十分ながらも、日本国内で国際フェアトレード認証に取り組む企業や団体数は累計で200を超えました。フェアトレード製品の普及へ取り組まれる事業者の方々には、製品の企画販売に留まらず、フェアトレード・ラベル・ジャパンと共に「フェアトレードとは？」や「フェアトレードの必要性」など、フェアトレード自体を広める活動にも積極的です。

そのような普及活動を後押し、フェアトレードの一層の定着と拡大を図るため、本年度より、国際フェアトレード認証を取得する企業、団体、ライセンシーの普及活動から模範的な事例を選出する表彰制度を設けます。

本表彰では、表彰状の贈呈と共に、受賞法人名称をフェアトレード・ラベル・ジャパン公式ホームページ等において掲載して発信します。

◇ 今年度の表彰について（五十音順：法人名称敬称略）

- ・小川珈琲株式会社 <https://www.oc-ogawa.co.jp/>
- ・第一コーヒー株式会社 <http://www.ajcra.org/member07/tokyo/e042.html>
- ・一般社団法人わかちあいプロジェクト <http://www.wakachiai.com>

-----  
お問い合わせ先

特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン 事務局

<https://www.fairtrade-jp.org/>  
-----



【ご参考：表彰理由】

・小川珈琲株式会社 様

2003年4月、国際フェアトレード認証へ参加、翌年より認証コーヒーを製品化、販売を開始。国内の企業として、認証コーヒーの取り扱い、製品数、販売数ともに年々伸長して最大。フェアトレードプレミアムによる、コーヒー生産地へのインパクトは多大であり、サステナブルな取り組みを具現化。15年以上経過する現在も、フェアトレード自体の普及活動として、勉強会や各種イベントにも積極参加され、コーヒー生産者の来日機会には情報交換や交流が盛んです。

・第一コーヒー株式会社 様

1993年、当時、フェアトレードがほとんど認知されていない日本国内において、いち早くフェアトレードの理念に深く共感し、日本初のフェアトレード認証コーヒー発売実現のため、メキシコのフェアトレード生産者とのパートナーシップのもと、認証コーヒーの輸入と市場開拓という大きなチャレンジに挑まれた功績への敬意と感謝を表します。

・一般社団法人わかちあいプロジェクト 様

世界でもまだ始まって間もなかった「フェアトレード・ラベル」のしくみを1993年に日本にいち早く紹介し、日本初のフェアトレード認証コーヒーの販売を実現され、長年に渡り、その理念のもとで一貫してフェアトレードの普及に尽力されてきました。以来現在まで、コーヒー・紅茶に限らず、カカオ、バナナ、バラ、コットン、ジャム・砂糖、大豆等々幅広い産品カテゴリーで一般消費者向けに加え、業務用原料に至るまで、製品企画開発・販売、具体的な普及活動へ長年に渡り取組まれています。日本国内における国際フェアトレード認証ラベル製品のパイオニアとして、模範となり、また、各国のフェアトレード生産者の方々に励みになっています。

以上